



ニュースリリース 平成 27年 9月 29日

稲敷市における農業を基軸とする産業の振興に関する協定の締結について



常陽銀行(頭取 寺門 一義)は、このたび、稲敷市(市長 田口 久克)、国立大学法人筑波大学生命環境系(生命環境系長 松本 宏)、一般社団法人 TW マネジメント(理事長 栗山 等)と、「稲敷市における農業を基軸とする産業の振興に関する協定」を締結しますので、下記の通りお知らせいたします。

本協定は、稲敷市における地域農業及び産業の振興に向け産官学金が連携して取り組んでいくもので、当面は、稲敷市が総合戦略の重点プロジェクトとして位置づけるライスミルク(コメの加工食品開発)の事業化に連携して取り組んでまいります。

当行は、今後とも、地域の皆さまとともに地方創生に向けた取り組みを進め、地域経済の活性化に貢献してまいります。

記

1. 協定締結日

10月2日(金)

2. 連携内容

- ・相互の人的、物的資源の活用
- ・農産物、地域資源を活用した研究開発及び事業化の推進
- ・地域雇用拡大等による地域の活性化
- ・人材育成、教育

3. 本協定に基づく当面の取り組み

- ・筑波大学食品・バイオマス工学研究室が旧新東小学校に分室を設置し、ライスミルクの試作品作りを行い、その後、TWマネジメントが事業化に向けた活動を行います。
- ・稲敷市は各種補助金などの申請を行うほか、地方創生を目的とした総合的な支援を行います。
- ・当行は、試作品に対するマーケティング支援、その後の事業化に向けた計画の検証、販路開拓支援、資金調達支援等に取り組んでまいります。

以上

期待される役割

稲敷市	<ul style="list-style-type: none">・地方創生を目的とした総合的な支援・関連機関との調整
筑波大学(食品・バイオマス研究室)	<ul style="list-style-type: none">・ラISMILKの試作品作り・地域の6次産業創出のための研究開発、教育
TWマネジメント	<ul style="list-style-type: none">・ラISMILK等コメの加工食品製造事業の起業
常陽銀行	<ul style="list-style-type: none">・マーケティング支援(試作品評価、ブランド化支援等)・事業計画の検証・販路開拓支援・資金支援(6次化ファンド、クラウドファンディング等の活用検討)

期待される効果

